

## 「統計業務」を通じてつながるもの



### ■ 仕事の内容

## 統計業務で世界とつながる

私が働く経済統計課では、事業所・企業の事業内容や従業者数、売上高など、経済活動の実態を把握するための統計調査を行っています。少子高齢化やIT化、経済のグローバル化が進む中、新しいサービス事業の登場や企業の事業多角化など、事業所・企業の活動も変化し続けています。こうした変化を的確にとらえるために、必要に応じて調査の内容や統計の作成方法を見直しています。そのための情報収集・分析を行うのが私の現在の業務です。

とりわけGDPのシェアが拡大しているサービス産業については、毎年、サービス産業統計に関する国際合会に出席し、各国の統計作成手法に関する情報を収集しています。私はこの合会で、日本の統計手法を紹介するため、初めて英語でプレゼンを行いました。平成25年に統計局がこの合会を主催した際には、その準備・開催業務にも携わることができました。

統計業務を通じて世界とつながっています。

### ■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

## 統計業務で過去・未来とつながる

学生時代の私は、数字は「無味乾燥」なものというイメージを持っていました。しかし、統計の仕事に携わるようになってから、数字に表すことで見えてくるものの重要性に気付くようになりました。

例えば、日本にはどれぐらいの人がいて（国勢調査など）、どのような住居に住み（住宅・土地統計調査）、どのような仕事をして（労働力調査など）、どのような生活を送っているのか（家計調査、社会生活基本調査）など、人々の暮らしに関する基本的な情報も、統計局が作成する統計があって初めて明らかになるものです。こうした統計は、人々が暮らしやすい社会をつくるために立案される様々な政策に生かされています。

統計局の調査には長い歴史があります。これらの統計によって、現在へと至った過去の姿を知ることができると同時に、未来を予測することも可能です。

統計業務は現在と過去・未来をつなげる仕事でもあります。

### ■ PROFILE

Mayumi Fujita

- 平成11年4月 総務庁採用  
統計センター管理部情報処理課プログラム第2係
- 平成12年4月 統計センター管理部電子計算機室運用第2係
- 平成15年4月 独立行政法人統計センター製表部  
情報処理課（受託保守担当）
- 平成17年4月 日本学術会議事務局学術部情報国際課国際会議係  
併任 日本学術会議事務局情報国際課国際調査係
- 平成17年7月 日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）付  
国際交流専門職付 併任 日本学術会議事務局参事官  
（国際業務担当）付国際会議専門職付
- 平成18年4月 統計局統計調査部調査企画課統計情報官
- 平成21年4月 統計研修所統計図書館外国統計編集係長
- 平成23年5月 現職

### ■ PRIVATE TIME

週末は、家族や友人と、家やお店で美味しいものを食べながらおしゃべりをして、心身ともにリフレッシュしています。最近、日本酒や焼酎を少し飲めるようになりました。国際合会の日本開催時に自分の言葉で海外からの参加者に日本の文化を説明できるようにになりたい！と思ったのがきっかけです。おかげで食の楽しみの幅が広がりました。



### とある 一週間

#### ■ MONDAY

国際合会開催を翌月に控え、国際担当と今後の準備について打合せ。

#### ■ TUESDAY

後輩の国際合会プレゼン原稿がより明快な内容になるよう一緒に検討。

#### ■ WEDNESDAY

サービス業売上高について一般の方から電話照会。HPの統計表をご案内。

#### ■ THURSDAY

国際合会の会場ホテルの下見に同行。設備や料理内容など入念に確認。

#### ■ FRIDAY

国際合会に向けて各国から提出された膨大な英文資料の精読開始。